

ウ
キ
シ

宇城市

総人口…55,656人 男…26,476人 女…29,180人 世帯数…21,975世帯
(人口構成比) 15歳未満…12.4% 15～64歳…51.6% 65歳以上…36.1%
※データは令和6年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。



守田 憲史 市長

令和6年度は市政施行20周年という記念すべき年であり、今まで積み上げてきた好循環のための布石をさらに積み増し、人口減少社会の中で生き残りを賭けて、全力で市政運営に取り組んで参ります。あらゆる世代の市民の皆様が、「住んでいてよかった」、「これからもずっと住み続けたい」と実感できるまちづくりに、引き続き、市民目線をもって、市職員と共に一丸となり邁進して参ります。



寄附御礼

- ・贈呈式開催(首長出席、寄附額10万円以上)
- ・感謝状贈呈(寄附額10万円以上)
- ・地公体広報誌掲載
- ・HP掲載
- ・視察受入
- ・功労者表彰推薦
- ・紺綬褒章推薦
- ・その他

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み



カテゴリー4 児童福祉

絵本No.1のまちを目指して

熊本地震後の集いの場として利用していた建物を移築・リニューアルした「こども絵本のいえ」。Book & Caféスタイルで人気の不知火美術館・図書館に隣接し蔵書数は1.2万冊。読み聞かせを毎日行い、子どもたちの想像力や感性を育み子育て世代に人気の施設です。この施設の魅力を更に引き出すため古くなった絵本の買い替えと新しい絵本の購入を進めます。



子どもも大人ものびのびと楽しめる空間に



カテゴリー3 地域活性化

1日限定!世界文化遺産で「うきからレストラン」

宇城の豊かな海や山の食材にこだわり、食の精鋭が腕をふるう「うきからレストラン」。熊本にゆかりのある一流料理人が世界文化遺産「三角西港」に集い、1日限定でレストランをオープンします。また、料理人監修のもと県内の学生が宇城市オリジナルのお土産を開発。宇城市産食材のPRや消費拡大、地域おこしを目指します。



歴史ある世界文化遺産で宇城の食材を堪能

宇城市まち・ひと・しごと創生推進計画

定住するまちづくりを目指して

基本目標

1

「育てる」まちづくり

人口減少に歯止めをかけるため、子育て支援には真摯に向き合い、子育て及び教育の支援や、その環境の充実を図り、「子育てするなら宇城市」を念頭に、重点的に取り組んで参ります

基本目標

2

「住み続ける」・「活躍する」まちづくり

全ての市民に「ちょうどいい!住みやすさ」を実感して頂くため、医療・福祉、健康、環境については引き続き充実を図り、将来にわたり安全で安心して住み続けられる環境の整備を図って参ります

基本目標

3

「持続する」まちづくり

昨年3月に定めた都市計画マスタープラン及び立地適正化計画に基づき、さらなる土地利用と必要な機能の誘導を図り、道路などのインフラ環境も整備いたします

基本目標

4

「選ばれる」まちづくり

市の強みである不知火美術館・図書館との更なる連携や、移住者への補助金をはじめとした子育て世帯に向けた優遇策の周知、空き家バンクの積極的なPRなどに取り組み、宇城市の魅力を発信していきます

宇城市

重点プロジェクト

公共施設内では全国初! 「遊んで」「学べる」eスポーツ施設『うきのば』

〈SDGs〉関連するゴール

4 質の高い教育をみんなに

8 働きがいも経済成長も

総事業費 6,000,000円 寄附目標額 6,000,000円

- 数値目標
- 年間来場者数… 1万人及び満足度80%以上
 - スマホ講座 …… 年24回

eスポーツやデジタルコンテンツを体験・活用できる「うきのば」は、子どもから大人まで誰でも“遊べる”場所であり、いつでもスマホ相談ができ、各種講座を受講できる“学べる”場所として、幅広い世代の方が利用しています。デジタル人材の発掘・支援、高齢者のデジタルディバイド解消や認知症予防、交流人口の拡大及び市のPRを目的としており、プロeスポーツプレイヤーとの交流や各種講座、イベントの実施数を増やし、多世代の利用者が満足できる場、プロ選手の原石を発掘・育成する場として活用していきます。



誰もが簡単にデジタルを体験できる拠点

寄附の具体的なメリット

- ①市ふるさと納税及びうきのばHPへの記事掲載
- ②市広報紙への掲載
- ③感謝状贈呈式を開催(地元報道機関へのプレスリリースを実施)
- ④eスポーツ施設「うきのば」視察及び体験、イベント招待、貸切利用

寄附申出書の事業名選択時は「子育て・教育」を選択してください。

重点プロジェクト

本物を「見て」「感じる」スポーツの力で地域を盛り上げる

〈SDGs〉関連するゴール

3 持続可能な開発目標

4 質の高い教育をみんなに

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナリシップで目標を達成しよう

総事業費 3,000,000円 寄附目標額 3,000,000円

- 数値目標
- 試合観戦招待人数 …… 1,200人(年間)
 - ホームゲーム開催 …… 4試合

スポーツの力で地域を盛り上げるため、プロスポーツの試合観戦招待や子ども達がプロ選手から直接指導を受けられるスポーツ教室の開催など、ふるさと納税の仕組みを活かしたプロジェクトを行います。特に、バレーボールV2リーグ所属のフォレストリーヴズ熊本とは連携協定を締結。チームは本市を拠点に活動しており、バレー教室や祭りへの参加など、積極的に地域を盛り上げていただけてます。

今後は、さらに多くの方を試合観戦に招待するなど、スポーツに触れる機会を創出し地域の活性化に繋がります。



一流のプレーを間近で見る機会を子ども達に

寄附の具体的なメリット

- ①市ふるさと納税HPへの記事掲載
- ②市広報紙への掲載
- ③感謝状贈呈式を開催(地元報道機関へのプレスリリースを実施)
- ④プロスポーツ選手の講演会のご案内(R5松坂大輔元プロ野球選手、R4森保一サッカー日本代表監督)
- ⑤フォレストリーヴズホームゲームのご案内

寄附申出書の事業名選択時は「観光・交流」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。